音楽本大賞
MUSIC BOOK AWARD

金 成玟（著）
慶應義塾大学出版局刊

『日韓ポピュラー音楽史 歌謡曲からK-POPまで』

【選評】

横川理彦（選考委員長）
「1960 年代から現在までの、日韓のポピュラー音楽の発展と相互関係を辿る一冊。しっかりとデータを押さえ、読みやすくてわかりやすい、「なるほど」とうなずくこと必至の好著。今すぐ読みたい！」

松平あかね
「歌謡曲から世界の音楽シーンを席巻する K-POP まで、大衆音楽を通して戦後の日韓関係を俯瞰できる一冊。韓国の音楽が厳しい社会情勢の中で進化を遂げる様子や、「アイドル」の在り方が日韓で異なる話も興味深い。」

毛利嘉孝
「音楽はたやすく国境を越えるにかかわらず、ポピュラー音楽の多くの歴史はナショナルな境界に閉じ込められてきた。日韓をポピュラー音楽で繋ぐ野心的でトランスナショナルな試みを讃えたい。」

渡邊未帆
「常に変化する近隣国との緊張と緩和の関係。音楽において、国境を軽々と越える要素、どうしても越えられない要素とは何なのか？　今「よく聴く音楽ジャンルは K-POP です♡」という方々にもこの本を勧めたい。」